

2011（平成23）年3月15日

Vハートひろしま通信

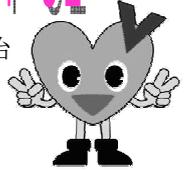
vol.31+32

発行：広島県民ボランティア活動推進会議（Vハートひろしま） 発行人：江村 良治

事務局：〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2 広島県ボランティアセンター内

TEL 082-254-3506 FAX 082-256-2228

E-mail chiiki@hiroshima-fukushi.net



第19回全国ボランティアフェスティバルひろしま ～全国のボランティア活動者が大集合！～



【Vハートひろしまが担当した分科会の様子】

全国のボランティア活動者のみなさんとこれからどうV連活動を進めていくかについて協議しました！

● CONTENTS

- 「つながる民力 いかしあう民力」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
- 「知らなきゃもったいない！～これからのボランティア連絡協議会の活動について探る～」・・・・ 4～5
- 「ご覧いただいていますか！？Vハートひろしまホームページ」・・・・・・・・・・・・ 6

第19回全国ボランティアフェスティバルひろしま

つながる民力 いかしあう民力



2010(平成22)年9月25日(土)・26日(日)に、広島市を中心とした7会場で開催され、全国から約2,300人の参加がありました。

1日目は開会式やテーマトーク、交流会などが行われ、また広島の魅力がいっぱいの“ひろしま”ミニツアーやつながりコンサートもありました。2日目は、7会場に分かれ22分科会が開催され、その後リレートーク、引継ぎ式・閉会式が行われました。

テーマトーク～民力による社会問題への挑戦～

少子高齢化の進行や孤立・自殺の増加、地域の崩壊など私たちの身の回りにおこっている様々な社会問題を解決するために、新しいチカラ(民力)を築いていく必要があります。

テーマトークではボランティア活動・市民活動の動向を確認し、孤立や孤独による暮らしにくさを和らげ、支援するための取り組みを紹介しながら、活動を「おこす」「つなぐ」「伝える」ことの必要性が提案されました。

そして「民力による社会問題への挑戦」とは、「明日の社会を目指して、協働で一本一本の木を植えることである。一本の木を植えなければ砂漠の緑化も始まらない。」とまとめられました。



◆コーディネーター
ルーテル学院大学 学長 市川 一宏

◆パネリスト
NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク
代表 清水 康之
NPO法人 菜の花プロジェクトネットワーク
代表 藤井 絢子

リレートーク～広島から新しい民力の発信～

リレートークでは「どうつながり、どういかしあうことができるのか？」について「おこす」「つなぐ」「伝える」をキーワードに大会全体を振り返りながら、ボランティア活動・市民活動のこれからを話し合いました。

「つなぐ」では横同士のつながりをもってやっていくことが必要であり、「伝える」ではほっとけない気持ちを持ち行動にしていくことが大切であるとまとめられました。



リレートークの様子

引継ぎ式・閉会式

引継ぎ式では来年度開催地である、東京にフラッグが引継がれました。

最後は、大会テーマソング「さあ はじめよう! ～It's My Pleasure!～」を参加者全員で歌いました。

フラッグが東京へ引継がれました!



～多くのボランティアの関わり～

会場までの案内係や、受付、記録、会場内での案内係など2日間で延べ約300人のボランティアのみなさんのご協力がありました。

また、広島を知ってもらう碑や被爆樹木めぐり、旧市民球場を紹介する“ひろしま”ミニツアーのツアーガイドは、日ごろから活動をされているボランティアのみなさんにご協力いただきました。

参加者同士の交流、参加者とボランティアの交流、そしてボランティア同士の交流…いろんなつながりができました。



学生ボランティアの取組みを紹介！！

「学生分科会企画グループ」



広島県内の大学生たちが1つの分科会の企画から当日の運営までを行いました。

分科会ではテーマごとに4つの小分科会に分かれ、地域と連携協力する方法、活動を維持していく方法などについて協議しました。

学生の取組みを通じ若い力を全国に発信しました！

「学生広報イベントグループ」

「楽しみながら自分たちにできることを」と集まったメンバーが参加者のみなさんに大会を安心して楽しんでもらえるように2種類のマップを作成しました。

大学生の視点で広島の魅力を紹介する「ひろしまてくてくマップ」と「会場案内マップ」は参加者のみなさんにも好評でした。



「学生アートグループ」



広島市立大学芸術学部の学生がウエルカムアートやスタッフTシャツのデザイン、モニュメントの作成を行いました。

パズル型のポストカードやTシャツのデザインはどれも今回の大会のテーマである「つながり」を象徴しています！





「知らなきゃもったいない！」

～これからのボランティア連絡協議会の活動について探る～

Vハートひろしまでは、チーフアドバイザーの江村良治さん（府中市ボランティア連絡協議会）、分科会責任者の熊谷操さん（ささえ愛ネットはつかいち）、副責任者の大原隆雄さん（世羅町ボランティア連絡協議会）を中心に分科会の内容を企画しました。

分科会のテーマや内容については、昨年度から広島県内のボランティア連絡協議会（以下V連）の活動のあり方について悩んでいたこともあり、他のV連の取組み事例を聞き、V連だからこそできる活動について考える分科会を行いました。

分科会の様子

分科会には、県内外から定員をはるかに超える130人の参加がありました。

基調講演、実践報告の後「V連をどう進めていくか」をテーマにグループワークを行いました。どのグループも和やかな雰囲気、笑顔を浮かべながらの話し合いになりました。

また質疑応答では「若者の巻き込みをどのようにするか」や「NPOとどうかかわるか」、「財政基盤をどう確立するか」など多くの質問が出されました。人材育成や他団との連携などは各V連共通の課題のようです。

分科会では、「若者との連携はまず若者の考えを知り、集まりやすい時間に会議設定を」「人が集まることでアイデアが生まれるのでまずV連の中で話合ってみる」とまとまりました。



実践報告をしていただいたみなさ

◆府中市V連の取組み 府中市ボランティア連絡協議会 副会長 井上 和明

ボランティア同士の交流や資質の向上を図ることを目的に、交流や研修会を開催しています。

V連として今後は輪を拡げていくため広報の強化を行ったり、さらには若者などの人材育成に取り組むたいと思っています。

◆輪島市V連の取組み 輪島市ボランティア連絡協議会 会長 小伊藤 佳子

平成15年に石川県で全国ボランティアフェスティバルが開催されることをきっかけにV連が立ちあがりました。組織化することで新たな出会いがあり、話し合うことで活動の幅が広がりました。また日ごろから顔を合わせていることで、平成19年に起きた能登半島地震の際も、スムーズに連携をとることができました。

ボランティアの質を高めるため、社協が開催する研修会などにV連も参画しています。

◆大阪府市町村V連の取組み 大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 大阪府ボランティア・市民活動センター 主事 高橋 圭子

大都市でのV連の活動は、共通認識が持ちにくいという課題がありました。「人材育成」「相互理解」「活動資金確保」などの意義や目的を共有するために、平成19年に連絡会の中に「ボランティアのあり方検討部会」を設け、多様化するボランティアについて課題整理を行いました。

広域V連として、各市町村V連では取りあげにくい内容を検討することを行っています。

会場の様子



～基調講演の様子～



～グループワークの様子～



～質疑応答の様子～

*** 責任者の熊谷さん、副責任者の大原さんにインタビューを行いました! ***

Q. 分科会の企画を通してどうでしたか？

熊谷さん：限られた時間の中で企画の打合せを行わないといけないこともあり大変でした。

企画や当日の運営を通し、顔を合わせて打合せを重ねることが大切だと感じました。

大原さん：広島の色を出そうと、会場でのグループ名には県内の特産品を使うことなども打合せ会で話し合いを重ねました。

Q. 会場の雰囲気や参加者の様子はどうでしたか？

熊谷さん：参加されたみなさんは、熱い思いを持って長年ボランティア活動をされている人が多かったです。自分の活動や、活動に対する思いを知ってもらいたいという雰囲気が強かったように思いました。しかし話し合いの時間が短かったこともあり、参加者同士十分に交流できず、「話したい」「聞きたい」との思いが残ってしまったことが残念でした。

大原さん：活動者の固定化や若者の巻き込み、他団体との連携など共通の問題点はあるものの、発表を参考にして明日から元気に頑張ろうという気持ちになったという人もおられました。

Q. 今後Vハートひろしまで「こんなことができたら」と思うことはありますか？

熊谷さん：ブロック別交流会の時、それぞれの近隣にある学校や企業などに呼びかけをしてみてもうでしょう。そうすることで自分の住んでいる近くにボランティア活動があることや、広島県全体でボランティア活動が繋がっているということを知ってもらえると思います。

大原さん：ボランティア活動について若者と意見交換する場をつくることや、未加入団体への働きかけ、また行政機関・他団体などと連携を密にして活性化する必要があると思います。

ポスター展示



Vハートひろしま会員の日ごろの活動を紹介したポスター展示も行いました。

どの団体のポスターも工夫が凝らされており、多くの参加者に見ていただきました。



ご覧いただいていますか!?

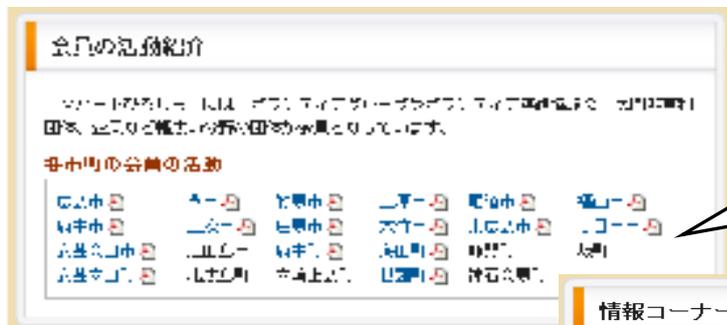
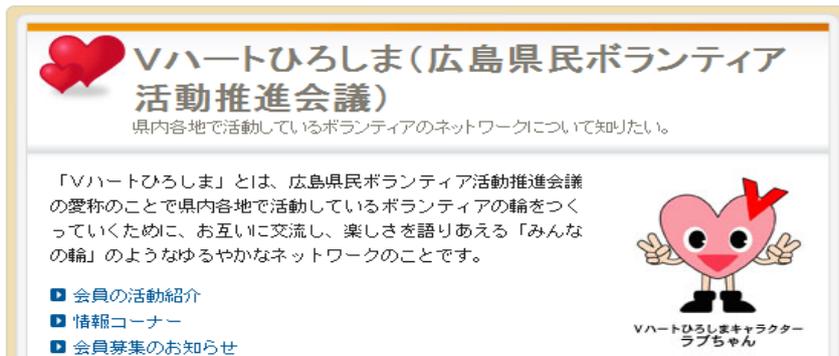
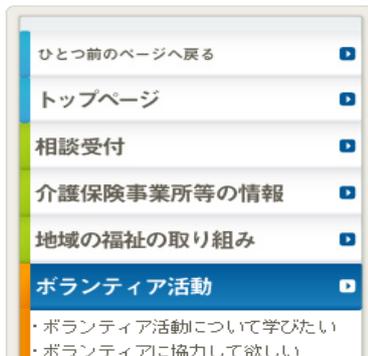
Vハートひろしまホームページ

Vハートひろしまでは、会員の最新の情報をお届けするためにホームページを作成しました!

ホームページをご覧いただくには

◆「Vハートひろしま」で検索

◆広島県社会福祉協議会のホームページを開いていただき、Vハートひろしまのバナーをクリック!
ホームページアドレス⇒http://www.hiroshima-fukushi.net/O4volunteer/v_heart.html



会員の活動紹介では、会員のみなさんの日頃の活動を紹介しています!

情報コーナーでは、各市町のボランティアに関するイベント情報、Vハート通信や助成金に関する情報を掲載しています



☆Vハートひろしま通信では、活動のお知らせや活動の様子など、会員のみなさまの声(投稿)をお待ちしております。メールやFAXなどでお寄せください。
☆この通信をご覧になり、それぞれのボランティア連絡協議会やボランティアグループのさらに詳しい活動について知りたいと思われた時は事務局にご連絡ください!

TEL:082-254-3506



みくち
担当:三〇